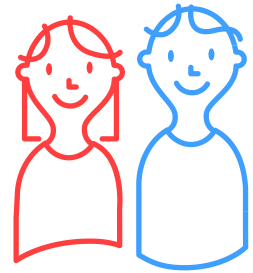


みんなで 一歩！



草津市男女共同参画啓発紙
2015. 3 No.40

男女共同参画写真作品審査結果発表！

最優秀賞



講評：

まず、父親の「まなざし」と「笑顔」が、温かい家庭の雰囲気をかもし出しています。子どもの表情も柔らかく、撮り手のお母さんの声まで聞こえてきそうです。

構図もまとまっており、優れた作品です。

古川 真樹さんの作品

母の日に夫が4歳と2歳の子ども達を指導しながら手料理を振る舞ってくれました。子どもと何かすることは、大人だけで行動するよりも何十倍も大変。それを楽しめる夫は貴重な人材だと思います。

(古川真樹さんのコメントから)

発行 草津市総合政策部企画調整課
男女共同参画担当

〒525-8588 草津市草津三丁目13-30

電話 077-565-1550 FAX 077-561-2482

E-mail : kikaku@city.kusatsu.lg.jp

男女共同参画に関する写真を募集して3回目になりました。今回は25作品の応募をいただき、ありがとうございました。

日本写真家協会所属の木村尚達さんに審査を依頼し、最優秀賞（1点）、優秀賞（3点）、入選（5点）の全部で9点の作品を決定しました。

優秀賞

中世古 隆男さん



講評：女性駅員の真剣な表情が印象的です。



講評：女性のパワーと、町の活気あふれる声が聞こえてきます。

中世古 健吾さん

講評：にぎやかな、楽しい家庭の様子がかがえるよい作品です。写真の自由な傾きが動感を一層引き立てています。

堤 美沙子さん



総評：

「男女共同参画」というテーマを、もう少し掘り下げて多角的に取り組んでいただければ、さらに選択肢が増え多くの作品が寄せられると思います。どう撮ればテーマが伝えられるか一工夫を期待します。

でも、年々楽しい作品が増えてきています。

次回も楽しみにしています。

木村 尚達



講師：安藤哲也さん

第2回草津市男女共同参画セミナーから
「イクボスでいこう！
～イクボス10か条のススメ～」

平成26年11月26日（水）

ボス(上司)に言われた
忘れられない一言

【GOOD編】

*育休取得を相談したとき「心配しなくて良い。俺の仕事はきみたちが働きやすい環境を作ることなんだから、任せなさい」

【BAD編】

*えっ！？妊娠したの？
まいったなあ。

イクボスとは、ともに働く部下・職場スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績を出しつつ自らも私生活を楽しむことができる上司や経営者のことです。

入 選

古川 一郎さん

田中 康明さん



ペンネーム：風陳さん

ペンネーム：Ma e g o m a さん



瀬川 正範さん

今回の受賞作品には、列車運行业務やタクシードライバーとして活躍されている姿、地域活動に積極的に参加されている姿が生き生きと表現されています。家庭で楽しそうに家事をされている姿も印象的でした。また、女性は神事に参加できない時代もあったようですが、少しずつ変わってきて、今では祭りの御神輿も女性が担いでいます。

審査員の総評にもありますように、「男女共同参画」というテーマをもう一步掘り下げて、周りを見渡すことで、新たな“気づき”につながるのではないかと思います。

第5回い〜ぶんフェスタの会場で受賞者の表彰と入賞作品の展示をおこないます。

3月8日(日) 13:00 会場：草津市市民交流プラザ大会議室

(フェリエ南草津5階)

平日夜の開催にもかかわらず、70名近い方々に参加いただきました。「ワーク・ライフ・バランス実現の鍵は上司にある！」という講演のあと、6人ずつのグループに分かれて行なわれたロールプレイでは、各自が上司や部下、観察者になってそれぞれの役割を演じました。演じることが気づきにつながったようです。

アンケートから

家事や育児がすべてのことにつながっていると感じました。(30代男性)

女性率95%の職場ですので近い将来実践していかなければならない内容がたくさんあった。(30代男性)

イクボス、イクメンについて解りやすかった。我が社の上司にも聞いて欲しい。(30代女性)

職場に帰って仲間に話します。(50代男性)

ロールプレイが役に立った。相手のこと、社会のこと、職場のことなど全般に目を向けることが重要ということがわかった。(60代男性)

前号では、草津市男女共同参画市民会議い〜ぶん学舎の副会長を務めておられた、植村 正雄さんに寄稿いただきました。今号では、1987年、市制施行後初の女性市議会議員として活躍され、また約20年にわたり草津市女性団体連絡協議会の会長を務められた伊吹美賀子さんに、男女共同参画への取り組みを振り返っていただきました。



昭和46年5月、小1と小3の子どもを連れて草津へやってきました。

P T A活動を始め、家庭教育学級、安全な学校給食問題と取り組みました。地元意識、男性を立てて女性は出しゃばらないといった男性・女性の意識が強いところだと感じました。

当時は、高度経済成長期で大量生産、大量消費の時代でした。同時に、食品添加物、合成洗剤、農薬、プラスチックごみ等が問題となった時代でもありました。

「1400万人の命の水」といわれた琵琶湖の水が臭くなり、私たちもその臭い水を飲んでいました。試しに、我が家の上水道を1年間分析したところ、トリハロメタンという、発がん性物質が含まれていることがわかりました。

消費者行政も始まったばかり。何とかしなければと市議員に立候補しました。

「入り人ですか」「後家さんですか」の声。当選してからは、「よそ者に何がわかるか」「女のくせに生意気だ」と議員仲間からも言われました。

女性が手を結んで力を持たなければと、草津市女性団体連絡協議会を発足して20年。あの手この手で取り組みを進めました。草津市でも男女共同参画社会の実現を目指した条例制定がなされ、徐々に形は整ったものの住民意識は思うようには進んでいません。

女性の地位向上の取り組みが始まって以来、何が変わったのでしょうか。

市役所の管理職3割すら望めないのが実情です。

お互いの立場を尊重しながら手を取り合って、住んで楽しいまち、住みやすい草津の町を市民みんなで大きな輪になって進めて行きたいと思っています。

伊吹美賀子



◆出前講座のご案内◆

草津市では、地域や団体などの学習会に無料で講師を派遣します。ぜひ男女共同参画の出前講座をご利用ください。

今年度は4カ所出前講座を行ないました。感想の一部を紹介します。

★男は…女は…という役割、自分が育ってきた中で自然と身についたものもたくさんある。自分が親になり、知らず知らずのうちに子どもの意識にも植えつけていることがあるだろうと思う。時折、意識して振り返ることが大切だと感じた。

★働くひとがストレスを抱え込まない社会、またそのストレスを弱者に向けない強い心を育てることが大切だと思った。考える良い機会になった。

★今の自分たちのことだけでなく、子どもや孫たちのために今できることを考え、小さなことでもやっていきたい。今日聞いたお話を少しずつでも広めていきたいです。

★まだまだ自分の中にも男女役割分担意識があるなと思いました。今すぐには変えていくのは難しいけれど、少しずつ変えていけたらいいなと思いました。

◆第5回い〜ぶんフェスタ◆

～上映会のお知らせ～

「い〜ぶん」は「even 対等な」。世の中は「い〜ぶん」でないことだらけ。男と女、大人と子ども、老人と若者…。「のんちゃんのリ弁」を観てもっと「い〜ぶん」でほっとな世の中にしていくなためのヒントをみつけませんか？



日時：3月8日（日）開場：12：30

会場：草津市市民交流プラザ（フェリエ南草津5階）

◆編集後記◆

ロールプレイを体験しました。

1ヶ月後に育児休業から復職する女性の部下が、上司と面談するという設定で、男性が女性の部下の役を演じたとき、「自分は男なのに、面談までの緊張感や、上司役の何気ないねぎらいの言葉に胸が詰まってしまった。自分でもびっくりした。」と振り返っていました。

違う性、違う立場、違う年代、違う経験等を、役を通して疑似体験することは、他者を理解する有効な方法のひとつだと感じました。